

建築設備配管用鋼管のWSP規格を改正しました（その2）

2. 「WSP 039 フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管」の改正概要（2023年7月12日付で改正）

- ・ポリエチレン材料の性能について、改正されたJIS G 3477-3（ポリエチレン被覆鋼管－第3部）に基づき、整合させました
- ・JIS 規格に示されるピール強度試験とWSP 039に規定するピール試験が一部整合しないことから、名称を付着力試験に変更しました
- ・亜鉛めっきについては、これまでの均一性試験（硫酸銅試液浸漬）は破壊試験でしたが、JIS 改正に合わせて、非破壊試験となる膜厚試験に変更するとともに、これまでよりめっき性能の高い膜厚基準値を設定しました

フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管（WSP 039）

■ 製品概要

1. フランジ付鋼管内面にポリエチレン粉体を熱融着した製品です。(直管及び異形管)
2. 耐食性に優れ、用途は給水の配管です。
3. 実用上、使用温度は60℃以下です。使用圧力が1.0MPa以下の場合はSGPを、1.0MPaを超える場合はSTPG又はSTPYも使用します。

※鋼管の記号 SGP、STPG、STPY

■ 種類・適用例

記号	構成	外面処理	適用例
※鋼管の記号-FPA		一次防せい塗装	屋内配管
※鋼管の記号-FPB		亜鉛めっき又は亜鉛溶射	屋内配管及び屋外露出配管
※鋼管の記号-FPD		ポリエチレン被覆	地中埋設配管及び屋外露出配管

■ 寸法表示

1. 寸法表		単位：mm		2. 表示例					
呼び径 (A)	ライニング管						内面ライニング 厚さ	外面被覆部 厚さ	
	鋼管部					長さ			
	外径	外径の許容差							
		SGP		STPG-S-H	STPG-S-C-STPG-E-G				
	直管	継手	直管	直管	継手				
20	27.2				—	±0.3	±2.0	0.5以上	0.5以上
25	34.0	±0.5	±2.0	±0.5	—				
32	42.7					±0.8	±1.0%	—	±2.5
40	48.6	±2.5	±1.6	±0.8%	±2.5				
50	60.5					±3.5	±1.6	±0.8%	±3.5
65	76.3	±1.6	±1.6	±0.8%	±3.5				
80	89.1					±3.5	±1.6	±0.8%	±3.5
100	114.3	±5.0	±3.5	±0.8%	+5.0				
125	139.8					-4.5	±3.5	±0.8%	-4.5
150	165.2	±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4				
200	216.3					±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4
250	267.4	±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4				
300	318.5					±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4
350	355.6	±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4				
400	406.4					±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4
450	457.2	±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4				
500	508.0					±4.1	±3.5	±0.8%	+6.4

備考 1. 直管の長さ32A以下は最大2,750mm、40A以上は最大5,500mmとします。

2. 呼び径350A以上の管の外径の許容差は、周長測定によることができます。この場合の許容差は、±0.5%とします。ただし、外径 (D) と周長 (l) との相互換算は、次の式によります。

$$D=l/\pi$$

ここに、D：外径 (mm)、l：周長 (mm)、 π ：3.1416

3. 直管550A～1,200A及び異形管の詳細寸法については、日本水道鋼管協会規格WSP039を参照ください。

3. 色相

内面		黒色
外面	FPA	茶色
	FPB	亜鉛めっき
	FPD	黒色